



三井金属鉱業株式会社

三井金属

東京都品川区大崎 1-11-1

郵便番号 141-8584

報道各位

平成 14 年 10 月 24 日

三井金属 一般汎用銅箔の生産体制をさらに再構築

当社 三井金属（社長：宮村眞平）は、日本・マレーシア・台湾・米国（2箇所）・フランスの6工場に加え、中国に加工・販売拠点（3箇所）を持ち、世界的に銅箔事業を展開しておりますが、昨年のITバブル崩壊後の急速な銅箔需要縮小および価格下落に伴い、当社銅箔事業の採算は急速に悪化したしておりました。

これに対し、各拠点の生産体制適正化を図り、収益基盤を改善し、世界的な事業展開を維持するため、一般汎用銅箔をアジアシフトする生産体制を再構築致しました。

銅箔世界需要の推定値は、2000年に16,000トン/月であったものが、2001年には10,000トン/月を割るまで落ち込みました。2002年では、春先に需要の回復が見られたものの、現在13,000トン/月程度にしか回復していないものと推定されます。

更に一般汎用銅箔需要のアジアへのシフトもあり、当社一般汎用銅箔の生産体制見直しは、喫緊の課題となっております。

そこで、これら需要激変等に対し、次の通り生産体制の再構築を実施致しました。

<国内>

上尾工場（埼玉県上尾市）においては、従来輸出を含めた生産体制の人員500名（契約社員等含む）から、昨年度末には315名体制としたところです。

これに対し、さらに製造ラインの整理・統合を実施し、パッケージ用等のハイエンド用銅箔の量産と、キャリア付き極薄銅箔等新製品の開発・量産試作に注力することにより、2003年3月末には、開発要員を含めた直轄社員数を約150名とし、生産体制は、従来の1,500トン/月に対し、500トン/月の新体制に移行致します。

< 海外 >

米国においては、従来2工場（ニューヨーク州、サウスカロライナ州）で一般汎用銅箔の量産を行っていましたが、米国市場の大幅な縮小に対応するため、ニューヨーク州工場では、一般汎用銅箔の量産を中止し、設備の一部除却を実施したうえ、特殊銅箔・先端材料の開発・試作工場として、現在米国のニーズに対応しております。

両工場合合わせた従業員数は、約250名を約100名まで減員し、これにより生産能力も従来の750トン/月から450t/月（サウスカロライナ工場）まで圧縮致しております。

フランス工場におきましても効率的運営を図り、従業員数の削減を含めた大幅なコストダウン対策を実施しましたが、生産能力は従来の300トン/月を維持して参ります。

一方アジアにおいては、中国広州（珠海）の加工・販売拠点の立ち上げも完了し、香港、蘇州の加工・販売拠点と合わせた中国3拠点による販売体制が整い、マレーシア工場（従来どおり生産能力1,550トン/月）・台湾工場（従来どおり生産能力1,100トン/月）をフルに活用して、一般汎用銅箔の需要に対応して参ります。

以 上

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画部広報室

かのえ
鹿江・浅木

Telephone 03-5437-8028